

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市宮城社会福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》          令和4年度 3,180人(前年度比 38%) ※大規模改修工事期間を除く令和4年4月～6月の利用者数          令和3年度 8,360人          令和2年度 4,074人</p> <p>《事業》          地域福祉活動の推進を図ることを目的に、地域住民や社会福祉を目的とする団体の活動拠点として、活動の場を提供するとともに、センター登録団体の自主的な運営を支援した。また、併設する仙台市社会福祉協議会青葉区宮城支部事務所と協力し、センター登録団体、近隣施設、関係福祉団体と連携した各種講座・行事の開催を通じて、センター利用促進と住民の福祉意識の向上を図った。また、仙台市と協働のもと、大規模改修工事を円滑に実施したことで、新年度の事業展開に向けて滞りなく準備を進めた。</p>
5 収支の状況	<p>《費用》 ( )は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者に支払った費用 12,930千円 (18,833千円)</li> <li>その他市が負担した費用 121,499千円 (7,982千円)</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料収入 0千円 ( 0千円)</li> <li>その他収入 8千円 ( 48千円)</li> </ul>
6 利用者の声	<p>《実施状況》          利用者アンケート:未実施(大規模改修工事のため)          運営委員会:1回(3/27)</p>

## 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた管理運営上の「基本方針」を確立し、施設の管理運営及び自主事業などを通して、当該目的が達成できており、評価できる。また、「基本方針」を館内出入口に掲示し利用者に周知するとともに、職員に対しては、毎朝のミーティングにおいて基本方針の理解促進を図りながら施設の管理運営にあたっており、評価できる。	39/39
II 施設の運営管理体制	指定管理協定書及び仕様書、その他関係法令を順守し、適正な施設管理がなされている。事故防止対策については、日々、定期巡回を複数回実施し、その結果を職員同士で情報共有している。万一、事故が起こった場合には、事故が発生した状況・その後の対応・今後の備えについて記録し、職員間に周知している。また、災害発生時の対応については、防災関係機関の連絡先を執務室内に張り出し、緊急時には速やかに連絡可能な体制を構築しているほか、消防機関と連携し、施設利用者も参加のうえ、防災訓練を行っている。さらに、個人情報の保護に関しても、研修等を行うほか、退庁時のクリアデスク等を徹底しており、評価できる。	24/24
III 施設・設備の維持管理	築34年を超える建物であるが、日々の定期巡回で設備に不具合等を発見した場合は、適切に修繕を行い、利用者が常に安全に利用できる状態に保たれている。植栽などの維持管理が適切に行われている。また、仙台市環境行動計画に基づき、省エネやごみの持ち帰りを呼び掛け、環境に配慮した施設運営を行っており、評価できる。	24/24
IV サービスの質の向上	受付の分かりやすさ、丁寧な対応など、利用者が親しみやすい施設の運営を行っており、評価できる。利用者及び地域住民向けにチラシや広報誌を作成し、掲示板等でイベントの開催について案内するほか、施設内に利用団体の作品を展示し活動内容を周知させるなど、利用促進のための取り組みを行っている。また、施設運営に関する管理運営委員会の開催や、個人利用者及び登録団体へのアンケートを実施し、講座内容へ反映するなど、施設のサービスを向上させるための取り組みがなされており、高く評価できる。	28/28
V 施設固有の基準	施設近隣の住民や団体とのかかわりが深く、地域に密着した施設となっている。年間を通して利用者の多い入浴施設については、毎日の塩素濃度測定や外部委託による定期的な検査等により衛生基準を満たしているとともに、新・仙台市環境行動計画に基づき節水等に努めており、評価できる。施設の運営については、社会福祉協議会宮城支部事務所との連携による福祉ニーズの吸い上げや、障害者と交流しながら親子で参加できる手話教室の開催、高齢者向け健康づくり講座の修了者による自主グループの立ち上げ支援など、高齢者のみならず、さまざまな福祉分野についての理解を深める企画が行われている。	15/15

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>1. 地域福祉の拠点としての活動 センター登録団体の活動や広報活動の相談に応じ、円滑に自主的な活動が行われるよう支援した。また、運営委員会や前年度利用者アンケートにより利用者のニーズを的確に把握しセンター運営に反映させた。</p> <p>2. 福祉の総合相談窓口としての体制整備 センター利用者の生活上の困りごとや地域の課題等の相談に対し、仙台市社会福祉協議会青葉区宮城支部事務所のCSWや関係機関へ適切につなぐ等の支援を行い、利用者の安心・安全な生活の確保に寄与した。</p> <p>3. 登録団体の自主的な活動の支援と協働による事業展開 センター登録団体の活動情報をセンターだよりに掲載する等、幅広くPRするとともに、センター登録団体相互の活動について理解を深めることができた。 また、地域交流サロンや福祉講座等、登録団体地域の福祉団体と協働した事業を行うことで、地域住民の福祉意識の醸成を図った。</p> <p>4. 閉館時の安全対策を構築 仙台市のガイドラインに基づいた運営内容を実施することで、施設の維持管理と事故を未然に防ぐ安全対策、コロナ禍の状況での感染防止、衛生管理に努めた。</p> <p>5. 大規模改修工事への対応 事務所の移転や業者との打合せ等、仙台市と協働し円滑に進めた。また、利用者に向けて、休館及び再開の説明等を丁寧に行い、事業の再開準備を行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域の特性に対応した地域密着型の施設運営を行っており、利用者と職員の関係も、親しみを持って接している様子が見え、独自性のある施設となっている。令和4年度については、大規模改修工事の実施に伴い3か月という短い閉館期間であったことや、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響下での施設運営となったが、予約制度による浴室における密の回避や、こまめな清掃等といった感染防止対策を講じたうえで事業を実施するなど、適切な管理運営が行われている。</p> <p>また、併設する仙台市社会福祉協議会青葉区宮城支部事務所と連携し、幅広く地域ニーズを把握することに加え、利用登録団体との連携による講座の開催や、前年度のアンケート結果を基に講座内容を見直すなど、利用者のニーズに寄り添った事業が展開されている。そのほか、地域の防災訓練等にも参加するなど、地域住民の交流拠点として地域に根付いた施設運営をしている点も評価できる。</p> <p>さらに、大規模改修工事の実施にあたっては、施設休館にかかる利用者への丁寧な説明や、施設再開に向けた工事期間中の各種問合せ対応、本市及び工事業者との調整などに積極的に関わり、大きなトラブルもなく円滑な施設再開を迎えることができたことも高く評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>大規模改修工事により、令和4年7月から令和5年3月まで施設を閉館した。閉館期間中、指定管理者は仮事務所を構えて利用者からの問合せなどに対応したほか、工事にかかる各種調整等に長年施設を管理してきた観点から助言、確認を行うなど積極的に関わり、指定管理者としての役割を大いに果たした。また、閉館期間中にも地域の行事へ参加するなど、地域との良好な関係性を維持する工夫も見られた。</p>

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局地域福祉部社会課